

道前道後用水地区

～ 地を越え、^{とき}世紀を越え、未来に架ける ～
「虹の用水、感謝の用水」



面河ダム



農林水産省

中国四国農政局 道前道後用水農業水利事業所

1 道前道後用水の概要

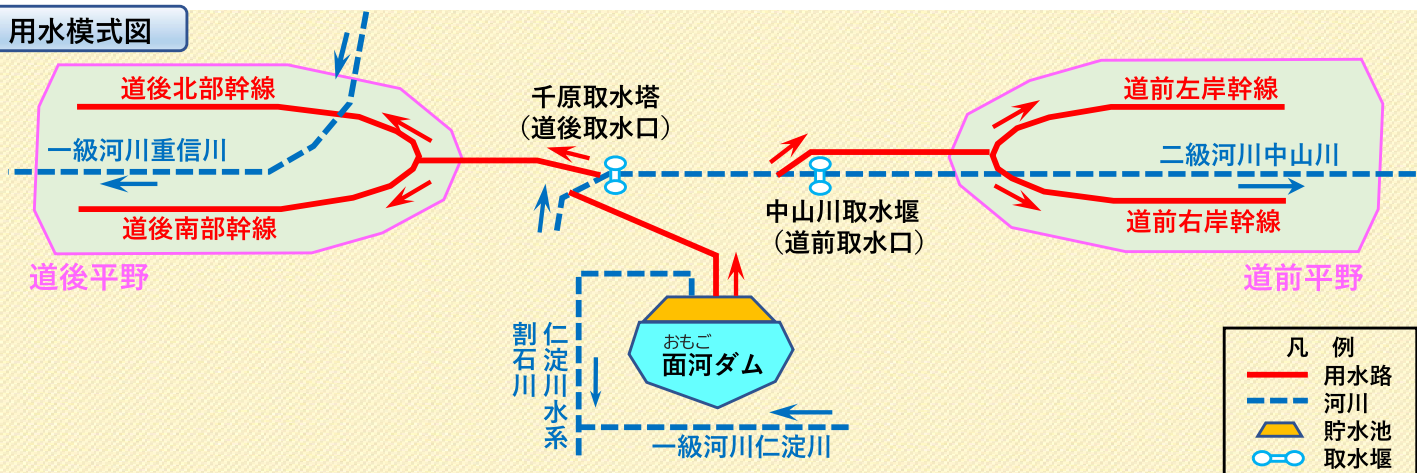
【事業の背景】

道前道後平野は、中山川流域等に形成された道前平野と、重信川流域に形成された道後平野からなり、瀬戸内海に面した気候特有の雨量の少ない地域にあるため、河川の流量が乏しく、昔から恒常的な農業用水の不足に悩まされてきました。

昭和の事業

昭和32年度～昭和42年度 国営道前道後平野土地改良事業

用水模式図



昭和32年度～42年度に実施した国営道前道後平野土地改良事業では、仁淀川の上流に面河ダムを築造して、農業用水、発電及び工業用水の水源を開発するとともに、四国山地を越えて道前平野・道後平野へ導水する水路や取水堰等を整備しました。

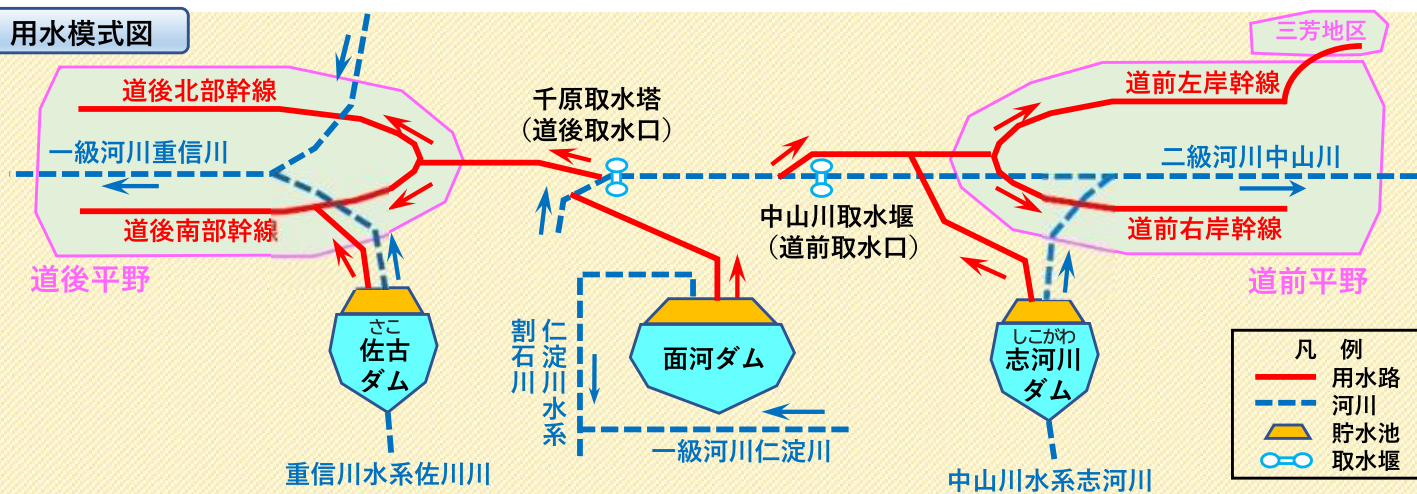
面河ダムからの水は、山並みを越えて架かる水の連なりであることから「虹の用水」と言われています。



平成の事業

平成元年度～平成25年度 国営道前道後平野土地改良事業

用水模式図



平成元年度～25年度に実施した国営道前道後平野土地改良事業では、受益地に三芳地区を追加し、新たに冬の野菜作に必要な水源として佐古ダム及び志河川ダムを築造するとともに、昭和の事業で造成した施設の改修を行いました。



これまでの経過

年 度	事 項
昭和27年度	道前道後平野農業水利事業 計画概要発表（愛媛県）
昭和32年度	事業の着工（昭和の事業）
昭和35年度	おもて 面河ダム着手
昭和38年度	面河ダム完成
昭和39年度	工業用水通水開始
昭和42年度	事業の完了（昭和の事業）
平成元年度	事業の着工（平成の事業）
平成8年度	さこ 佐古ダム着手
平成12年度	佐古ダム完成
平成16年度	しこがわ 志河川ダム着手
平成22年度	志河川ダム完成
平成23 ～ 25年度	施設機能監視期間
平成25年度	事業の完了（平成の事業）

施設概要

区 分	施設内容
共同施設	承水施設 面河第一承水堰など 11か所
	承水路 開水路、隧道 L= 8.5km
	導水施設 放水導水路 L= 7.8km 道後導水路 L= 5.4km ちはら 千原取水塔 1か所 道後北部幹線用水路 L= 12.7km
	貯水池 面河ダム（総貯水量 28,300千m ³ ）
農業専用施設	幹線用水路ほか L= 26.6km
	なかやまがわ 中山川取水堰 1か所
	道前平野 志河川幹線水路 L= 2.1km
	志河川ダム（総貯水量 1,300千m ³ ）
	幹線用水路ほか L= 26.7km
	よこたに 道後平野 横谷調整池、通谷調整池 2か所 とおりたに 佐古ダム（総貯水量 1,110千m ³ ）

鳥 瞰 図

